

AGARA

紀伊民報

乳がん患者の心のケアを

10月、高野山で全国イベント

乳がん患者の心のケアをテーマにした全国イベント「生命（いのち）の祈り 乳がんの集い in 高野山」が10月27、28の両日、高野山で開かれる。高野山金剛峯寺や医療法人南労会、日本医療企画でつくる「乳がんいのちプロジェクト」実行委員会主催。「乳がん撲滅月間」の10月に合わせ、初めて開く。

初日には、多くの乳がん患者が訪れる慈尊院に絵馬を奉納したり、乳がん検診啓発を目的に高野山参道をウォーキングしたりする。2日目は、乳がん患者会会長らが講演。ダウン症の書道家金澤翔子さ

んが、患者を応援する書を披露する。

週1回、田辺市の玉置病院に勤務する梅村定司実行委員長（45）は南労会紀和病院紀和プレストセンター長は「近年、乳がんが日本で増加している。闘病生活はつらく長く、こころのケアが必要。紀南の人にも参加してもらい、病気を乗り切ってほしい」と話している。

参加費は無料。患者は宿坊に宿泊する。食事やオリジナルウインドブレーカー代などを含め、宿泊費は1万3千円。当日、玉置病院から送迎バスが出る。参加希望者は9月28

日までに申し込む。一般の人が参加できる催しもあるが、宿泊は不可。

患者の申し込みや問い合わせは紀和病院（0736・33・5000）内の「乳がんいのちプロジェクト」事務局へ。